

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	当院における膵腫瘍の臨床的特徴と治療成績の解析
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	消化器・内分泌・代謝内科学(第三内科) 助教 小泉光仁
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2031年3月31日
対象となる方	2002年4月から2030年3月に愛媛大学医学部附属病院第三内科を受診された方のうち、膵腫瘍(膵癌、IPMN、MCN、SPN、NET等を含む)と診断された18歳以上の患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 1) 臨床所見：年齢、性別、身長、体重、Performance Status (PS)、病歴(診断名、既往歴、合併症、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、社会歴) 2) 検査結果：血液検査(血算、生化学検査、腫瘍マーカー等)、画像診断結果(CT、MRI、PET-CT、超音波内視鏡、ERCP等)、遺伝学的検査(BRCA解析、がんゲノムプロファイリング検査) 3) 病理学的所見：組織型、分化度、病理病期、免疫染色結果、MSI検査、MMR-IHC、がんゲノムプロファイリング検査結果 4) 治療内容：手術(術式、手術日、合併症等)、放射線治療(照射部位、線量等)、化学療法(レジメン名、投与薬剤、用法、投与量、治療効果、有害事象等) 5) 転帰、予後：生存確認、死因、再発の有無等
研究の概要 (目的・方法)	【背景と目的】 膵癌は治療が難しい病気の一つですが、近年の治療法の進歩により成績が向上しつつあります。また、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)や神経内分泌腫瘍(NET)

	<p>など、膵臓に発生する他の腫瘍についても、適切な治療のタイミングを判断することが重要です。本研究では、当院で膵腫瘍と診断され治療を受けられた患者さんの診療情報を解析することで、どのような患者さんにどのような治療が効果的か、治療成績に影響する要因は何かを明らかにし、今後の膵腫瘍診療の質向上に役立てることを目的としています。</p> <p>【方法】</p> <p>2002年4月から2030年3月に当院第三内科で膵腫瘍と診断された患者さんのカルテ情報を収集し、統計学的手法を用いて解析します。患者さんの臨床背景、検査所見、病理学的特徴、治療内容、予後などの関連性を調べ、治療成績に影響を与える因子を探索します。</p>
個人情報保護について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 小泉光仁 〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5308</p>